

臨床研究へのご協力をお願い

研究課題名：肝癌 Intermediate stage に対する複合免疫療法から始まる治療シーケンスの有用性

進行肝細胞癌（以下肝癌）の中で一定程度の進行度である Intermediate stage* 肝癌に対する標準治療は TACE**でしたが、その高い有効性から国内外でのガイドラインで複合免疫療法を最初に行う化学療法も選択肢として提示されることとなりました。しかし複合免疫療法の開始が 2020 年 9 月と日が浅く、TACE と複合免疫療法のどちらかがよいは明らかではありません。そこでどちらの治療が優れているか、同等かを明らかにしたいと考えています。

*：肝がんの進行度は、Early stage 早期・Intermediate stage 中間期・Advanced stage 進行期の 3 つに分けられ、それぞれに対する治療法がガイドラインで推奨されています。

**：肝動脈化学塞栓療法といい、カテーテルを用いて肝動脈に抗がん剤や塞栓物質を挿入し、肝がんを壊死させる治療法です。

【対象】 2012 年 1 月から 2021 年 12 月までの間に、当院で Intermediate stage 肝癌に対して TACE あるいは複合免疫療法を受けられた患者様

【方法】 基本的な情報（年齢、性別、身長・体重）や、血液検査結果、肝癌進行度、治療法、予後などを診療情報（電子カルテなど）から調査します。

【研究期間】 当院倫理審査承認後 6 年間（2027 年 12 月）

【プライバシー保護など】 本研究は日常診療で得られた臨床データを収集し解析する研究であり、新たな検査や費用の負担が生じることはありません。研究で扱う情報は、個人情報を持ち離して個人が特定されない形で厳重に扱います。また、この取り組み、研究の成果は、学会や医学雑誌などで発表されることがありますが、その際に対象となった個人が明らかにされることはありません。皆様の貴重な臨床データを使用させていただくことにご理解とご協力をお願いいたします。

本研究に関する質問やご自身のデータを本研究に使わないでほしいと希望されている方は、平日の 9:00 ~16:00 の間に下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

連絡先

研究責任者 国立病院機構京都医療センター 診療部長 臨床検査科・消化器内科 勝島 慎二

電話：075-641-9161（代表）

2021 年 12 月